

日本書紀を

訪ねて

神代編



天岩戸

静岡県浜松市

【あまのいわと】素戔嗚尊（すさのおみこと）は機織りの神聖な御殿に馬を投げ入れ、天照大神の身を傷つけるなど、その行為は乱暴を極めた。立腹した天照大神は天石窟に入り、磐（岩）戸を閉じて籠ると、国中が闇に包まれた。八十万の神たちが策を考え、磐戸の前で滑稽な所作を含む祭祀を行い、天照大神が不思議そうに外をつかがう隙に天石窟から引き出した。素戔嗚尊は罪を問われ、追放された。



巨岩を神が座す場所として崇める信仰形態は古来、各地で見られた。その一つ天白磐座遺跡は、静岡県浜松市の滑伊神社境内の小高い丘に位置する。最大のもので長さ約10m、高さ約7mもある複数の岩が立ち並ぶ壮観な景色だ。

「岩に登って遊んでいたら、神様がいた場所だから近づくなど親に注意されました」。地元郷土史会の石原正美さん(77)は幼少期の思い出を語る。地元では神聖な場所と知られていた巨岩群が注目を集めたのは、石原さんも参加した1989年の発掘だった。

岩陰からは古墳時代前～中期(5世紀頃)の土器に加えて、滑石製の勾玉や鉄矛・鉄刀・鉄鏃などの製品が見つかった。巨岩とこれらの遺物から想起されるのは、神がこもる岩戸の前で玉や鏡、矛などを用意して祭祀を行った日本書紀の神話「天岩戸」の世界観だ。

巨岩遺跡に息づく祭祀

た矛を持ち、天石窟戸の前に立つて、滑稽なしくさや踊りで神意をうかがった。

天白磐座は天岩戸など神話の伝承地ではない。それでも、これら巨岩祭祀と似通った様子が神話に描かれたのはなぜか。謎を解くカギは、大和王権が全国に支配を広げていった当時の時代背景にある。

埼玉古墳群(埼玉県行田市)で出土した471年製の鉄剣の金象嵌銘には、「治天下」「大王」などの文字が見られる。神道考古学が専門の笹生衛・国学院大教授によれば、5世紀は「朝鮮半島の動乱を受け、大和王権の国家領域の意識が形成された時代」という。

国家祭祀の場だった世界遺産・沖ノ島(福岡県宗像市)の巨岩遺跡では、豊富な遺物から4世紀以降の祭祀の流れがとどれる。4世紀後半の祭祀遺物は銅鏡が中心だ

が、5世紀以降は鉄製品が増加。4世紀後半から5世紀に大陸から鉄が大量に流入した証しだ。最新素材を用いた祭祀用具は王権の領域拡大とともに各地に普及し、天白磐座の地にも伝わったようだ。

天白磐座遺跡の巨岩が位置する丘は三方が川に囲まれ、瀬音がすがすがしい。発掘を指揮した元同志社大教授の辰巳和弘さんは、「地域に恵みをもたらす水の豊かさに加え、堅牢な物の象徴として古来、聖性を見いだされた巨岩の存在が、『水の神』の座す地として祭祀の場に選ばれた」という。

この地の首長は、聖地を清浄に保つために、一度使用した祭祀員を別の場所に廃棄したのだろう。遺物の出土数は少ない。一方、沖ノ島の巨岩遺跡では鉄製の武器のほかに、農工具など多彩な遺物が残る。笹生教授によると、これらは日本書紀に記述が見られる7世紀以降の祭祀で用いられた神への供献品と共通する。5世紀代の古墳時代の祭祀が奈良・平安期の祭祀にも影響し、それが天岩戸神話につながっているのだ。



天白磐座遺跡で出土した古墳時代の祭祀遺物。大和王権の領域拡大から、5世紀代は同様の遺物が見られる祭祀場が全国に広がった

大陸への航海安全を願った国家祭祀の場の沖ノ島と、地域の首長が地元の安寧を願った天白磐座。規模は異なるが、巨岩のある両地には日本書紀の記述に引き継がれた祭祀の源流が息づく。(多可政史)



深める

神話に基づくと神楽各地に



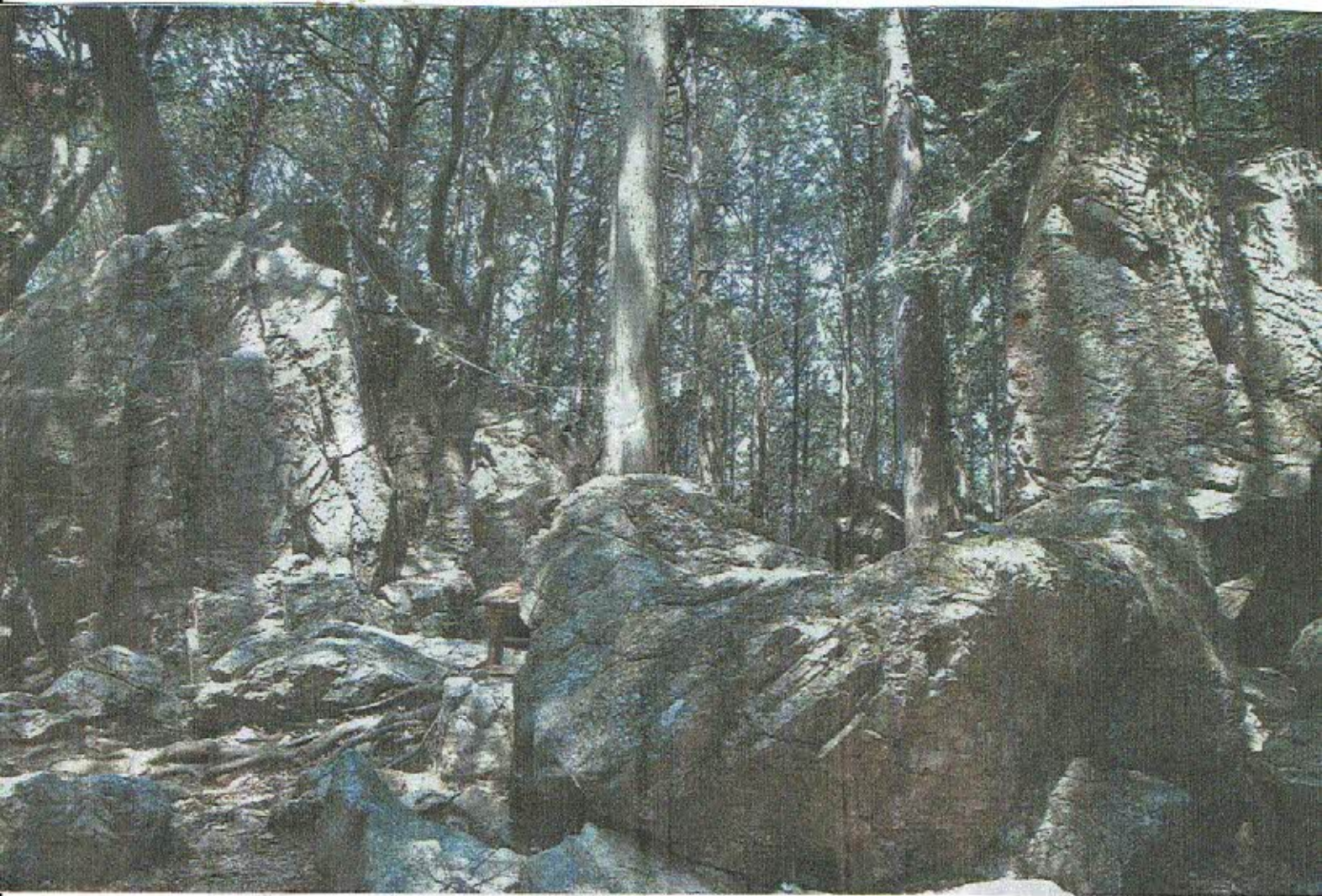
「天岩戸」の伝説に由来し、地元の人や観光客らに親しまれている高千穂神社の「高千穂神楽」(宮崎県高千穂町、2016年撮影)

素戔嗚尊は粗暴のために父母から追放され、いとまぎいのため、高天原に住む姉の天照大神を訪ねた。国を奪う邪心があるに違いないと警戒した天照大神に対し、素戔嗚尊は潔白を示す儀式「誓約」を申し出た。それが子が生み、男だったら勝ちとの取り決めで、素戔嗚尊が勾玉をかみ砕いて男神を作り出したと、日本書紀にはある。素戔嗚尊の乱暴狼藉の背景には、天照大神との対立があった。

天照大神を岩戸から呼び戻す神話では、多くの神々が活躍する。日本書紀によると、それらの神々は大和朝廷の氏族の遠祖と位置づけられ、鎮魂祭で舞楽

に奉仕する女性を献上する氏族である瓊女君氏の遠祖に加え、朝廷の祭祀の実務を担当した中臣氏と忌部氏の遠祖も登場する。「天岩戸の神話」は、奈良時代の朝廷の政の中心を担った氏族の由来を説明する意図もあった」と、笹生教授は説明する。

「三種の神器」を構成する鏡や瓊(勾玉)が登場するなど、「天岩戸神話」は日本書紀の中でも重視され、宮崎県高千穂町の「天岩戸神社」など、天照大神が隠れた伝承を持つ洞窟や岩をご神体として崇める神社は各地にある。天照大神が外に導き出されるまでの神話に基づいた天岩戸神楽も各地に伝わる。



■アクセス■

天白磐座遺跡＝JR浜松駅から遠鉄バスで約1時間の
「北神」下車後、西南西約300mに位置する清伊神社内



巨岩が立ち並ぶ天白磐座遺跡。岩陰に鉄製品や
勾玉などが奉納された古墳時代の祭祀場は、地
元首長が水の恵みを神に感謝するために設けら
れたという（静岡県浜松市で）＝多可政史撮影